

日光医療センター通信



獨協医科大学日光医療センター

Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

2011.2 第13号



(並木大橋から見る日光連山)

主な内容

診療紹介（泌尿器科）	2
第Ⅰ期外壁改修工事が完了いたしました	3
部門紹介（心大血管リハビリテーション）	4
旬を食べよう	5
ご面会の方へのお願い	5
病院への手紙回答・求人情報	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

泌尿器科

泌尿器科・教授 本田幹彦

泌尿器科は尿を作り、これを貯めて体の外に出す働きに関係のある臓器（腎臓（じんぞう）、尿管、膀胱（ぼうこう）、尿道）の病気や男性のみにある精巣（睪丸）、精巣上体（副睪丸）、精管、精嚢（せいのお）、陰茎、前立腺の病気、さらに副腎、後腹膜の病気を扱っています。このため、女性から男性、小児から高齢者まで幅広い層を対象として診療しています。

【診療内容】

泌尿器科疾患の全般、小児泌尿器科、女性泌尿器科また男性生殖学についての診療を行います。治療に関しては、外科的治療（手術）が中心となります。

代表的な診療対象疾患（病気）を（表）に示しましたので参考にしてください。

【特徴・特色】

体にやさしい、最新の内視鏡で、
最良の診断・治療

人間の体内を内視鏡で初めて観察されたのが膀胱のため、泌尿器科での内視鏡の発達は目覚ましいものがあります。当センター泌尿器科では日本でもまだ数少ない最新の内視鏡を用いて、診断・治療を行っています。尿路上皮癌（腎盂・尿管・膀胱癌）は、特殊光や光線力学的な手法を用いてより正確な診断を行い治療成績向上につなげています（図1-1、図1-2、図2）。

（表）代表的な泌尿器科の病気

腫瘍(悪性・良性)	
• 腎腫瘍(腎癌)	• 前立腺癌
• 腎盂癌	• 睪丸腫瘍(精巣癌)
• 尿管癌	• 副腎腫瘍
• 膀胱癌	• 後腹膜腫瘍
尿路結石	
• 腎結石	• 膀胱結石
• 尿管結石	• 尿道結石
泌尿器科の感染症	
• 膀胱炎	• 腎盂腎炎
• 前立腺炎	
• 性行為感染症・尿道炎	
排尿に関わる病気	
• 前立腺肥大症	• 尿失禁
• 夜尿症	• 過活動膀胱
• 神経因性膀胱	
先天異常	
• 膀胱尿管逆流症	• 尿道下裂
• 停留精巣	
水腎症	
腎不全	
間質性膀胱炎	
男性不妊症	
男性更年期	
勃起障害	
性分化異常	

（図1-1）

光線力学的な蛍光膀胱鏡(PDD)

通常内視鏡 PDD内視鏡

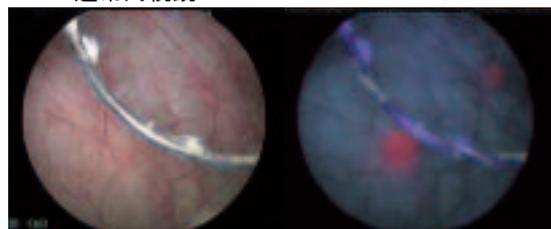


隆起していない病変が境界明瞭に観察される

（図1-2）

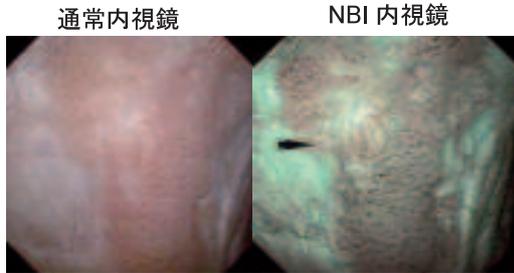
光線力学的な蛍光膀胱鏡(PDD)

通常内視鏡 PDD内視鏡



多発性の小さな病変も明瞭に観察される

(図2) 狭帯域光による膀胱鏡(NBI)



病変が明瞭となり、境界も明瞭に観察される

その他、腎臓癌、精巣癌などの癌の手術療法も行い、現在まで良い外科的治療成果を上げています。今後も増加するがん治療に関しては手術療法のみならず、チーム医療が行える環境にあるため、進行癌であっても最新の集学的治療で日常生活を損なわず、個人の他に抱えている病気や年齢などの状態に合わせたきめ細かい治療を行います。

まだまだ、ご紹介したい泌尿器科診療情報がありますが、今回はこれにて失礼いたします。患者さまが増えて来て、お待たせすることも多くなりましたが、この地域でも泌尿器科疾患の最良の治療をなるべく待たずに提供できるように努力いたしますので、今後とも宜しく願い申し上げます。

泌尿器科外来担当表

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
担当医	中西講師	本田教授	本田教授	手術日	本田教授	中西講師

受付時間：月曜日～土曜日（8:50～11:00）

受付電話：0288-76-0620

お知らせ（第Ⅰ期外壁改修工事が完了いたしました）

病院建物（1号館南病棟系）の外壁改修工事が完了いたしましたので、お知らせいたします。

なお、来年度中（本年4月以降）に引き続き1号館西病棟系の工事を予定しております。工事期間中は、患者様をはじめ関係各方面の皆様にご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

（管理課）



部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 心大血管リハビリテーション（心臓リハビリ）

当センターのリハビリテーション部では、9月1日付で「心大血管リハビリテーション」を開いたしました。現行の運動器、呼吸器の部門に心大血管部門を加えた3部門でリハビリテーションを行ってまいります。

6月に開設した「心臓・血管外科」や「循環器内科」の疾患を対象に診療を行っております。

●そもそも...

心大血管リハビリテーション（心臓リハビリ）は、運動療法を中心として行います。運動により運動耐容能（体力）を高め、動脈硬化の危険因子を是正する事が目的です。また、再発の予防や生命予後を改善すると言われていています。術後や発症早期からのリハビリの介入により、元々ある体力の減少を最小限に留め、日常生活へ早く安全に復帰することが心臓リハビリの目標です。

現在、専属の理学療法士2名が医師、病棟看護師、管理栄養士と協力し、運動療法・心臓病教室・退院後の生活指導などを入院の患者さまに行っています。

●対象疾患

- ◆心不全
- ◆急性心筋梗塞
- ◆狭心症
- ◆心臓手術後（当センターではリハビリのみ）
- ◆大動脈の疾患（腹部大動脈瘤など）
- ◆閉塞性動脈硬化症 など...



心臓リハビリテーション室

●何をやるの？

- ◆運動療法：離床・歩行、自転車エルゴメータによる有酸素運動、レジスタンストレーニング、在宅での運動療法の指導を行っております
- ◆集団学習：看護師・理学療法士・管理栄養士による「食事療法」「運動療法」「フットケア」「日常生活」についての講義を行っております。

自転車エルゴメータによる運動療法



旬を食べよう

ほたて くせがなく、料理の幅も広いことから人気の高いほたては、冬から春が旬です。



《栄養》

ほたては、高たんぱく低カロリー食品です。グリシン、アラニン、グルタミン酸、イノシン酸などの甘み、うまみ成分がたっぷり含まれています。また、肝機能を活性化したり、血圧を正常の上昇を抑えたり、血中コレステロールを下げてくれる働きがあるタウリン、味覚・嗅覚を正常に保ち免疫機能を高めてくれる亜鉛、貧血の予防改善にも効果的な鉄なども豊富に含まれています。

《選び方》

- 殻つきのものは、触るとすぐに殻を閉じるものが新鮮です。わたが黒ずんでいるものは鮮度が落ちているので、生食は避けましょう。
- むき身は、大粒でつやがあり、張りのあるものを選びましょう。



《美味しい食べ方》

あまり手を加えずに、網焼き、バター焼きにするとうまみが引き立ちます。てんぷらやフライ、鍋料理、煮付けにしたり、ひと手間かけて、パン粉焼きやおろし和えやサラダにするのも良いでしょう。

- パン粉焼き・・・パン粉をつけてオーブンで焼きます。
- おろし和え・・・ボイルしたほたてを大根おろしで和えます。
- サ ラ ダ・・・季節の野菜と合わせて、サラダにします。

ただ、加熱しすぎると、身がしまって硬くなり、風味が低下するので注意が必要です。

(管理栄養士：川村千恵美)

お知らせ（ご面会の方へのお願い）

◆◆ お願い ◆◆

インフルエンザが流行しています。患者様への感染を防止するため、面会は極力ご遠慮くださいますようお願いいたします。面会を希望される場合は、必ずナースステーションまでお申し出ください。

なお、面会は患者様の状態に応じ、デイルームでの面会とさせていただきますので、ご了承ください。面会の際は、必ずマスクの装着をお願いいたします。マスクを装着されていない方の面会にご遠慮させていただきます。

また、面会時間につきましては、病気で入院されている方々の治療時間や安静のため、下記のとおり時間を設定させていただいております。何卒趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

(面会時間) 平 日：午後2時～7時 まで
土・日曜日・祝日・休診日：午後1時～7時 まで

病院への手紙にお答えいたします

～当センターの各所に設置してあります、ご意見箱に寄せられた
患者様からのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

ご意見・ご要望

●検査の待ち時間について

<53歳 女性>

検査の予約時間を過ぎても何の説明もなく、検査に対する不安を一層つのらせた。

A お答えいたします

大変ご迷惑をお掛けいたしております。

検査の時間や内容につきましては、予約の際にご説明しているところですが、当日前の患者様の検査が延びてしまい、お待ちいただくこととなったと思われます。

このような場合、まずはお待たせしている患者様にご説明申し上げるべきであり、対応が不適切だったことをお詫び申し上げます。

今後は患者様が安心して検査を受けていただけるような対応を心掛けてまいります。

ご意見・ご要望

●医師の診療態度について

<29歳 男性>

質問をする時もパソコン画面ばかり見ているいやな感じがした。

A お答えいたします

患者様に不快な思いをさせていただきましたこと、大変申し訳なくお詫び申し上げます。

電子カルテシステムでの診療では、コンピュータに入力しなければ診療が進みませんが、画面だけを見ていて患者様を見ないということは本末転倒であり、電子カルテを扱ううえで一番注意しなければならない事項のひとつであります。

このようなことは患者様の気分を害するだけでなく、患者様の表情、顔色など診療に大切な情報を得ることも出来なくなります。正確な診療を行うために、基本に立ち返り診療を行ってまいります。

当センターで 一緒に働いてみませんか？

平成23年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで

TEL 0288-76-1515

(内線270) 看護部

※平成22年度採用についても
随時対応いたします。

編集後記

書店では、92歳を過ぎてから書き始めた詩集がベストセラーとなっていました。宇都宮市在住の柴田 トヨさん、日舞を趣味にしていた彼女が、腰を悪くして、床に着いている時に書き始めたものです。産経新聞「朝の詩」に投稿したのがきっかけで、以後7年間に綴った詩が詩集として刊行されました。読んでみて感じることは、ヒト・物に対する感謝、家族への愛情、いじめや自殺する者への戒め、ふと日常で感じた事をそのまま文字に残しています。風や陽射しを感じ、感謝の念を抱いております。私達が忘れていた事を、今、再認識させられました。毎日の生活で、忙しいと文句を言う前に、今日も一日元気で生きていることに感謝しないと。
(スノーマン)

日光医療センター通信 第13号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日/平成23年2月1日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株式会社松井ピ・テ・オ・印刷

携帯サイトはこちら

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/>

または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

